

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	身体レベルの違いにより、浴槽での入浴が困難になってきている。その為場合により、シャワー浴にて身体の清潔を保っている。身体的に重度化してきている入居者様に対して、浴槽に浸り入浴の喜びを提供できる環境を整える。	シャワー浴だけでなく、浴槽に浸かり、入浴の楽しみを提供できる。	・入浴日に合わせて、職員二人体制での入浴支援が出来るようにする。(他の入居者様の安全を確保し、職員間の業務の調整をする)また、入浴支援についての意義を職員へ周知徹底する。	12ヶ月
2	49	身体レベルの違いにより、外出の支援を決めていた。外出できる機会を途絶えさせないためにも、その人個々に合わせた、外出支援を整えていく。	個々の状態に沿う、外出の機会をもうけ、身体レベルが低下しても、その人らしさを表出できる機会を提供していく。	・日常的な散歩の機会を設け、個々に合わせた外出支援を提供していく。また、他入居者様の外出時は、ベランダにて外気浴を楽しめその人のレベルに沿った支援を提供する。(個々の支援の意義を職員へ周知徹底する)	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。